



## イベント情報

### ● 第4回くるりん講座

- 日時 10月1日(土) 9:30~11:30
- 場所 市民活動サポートセンター「くるりん広場」
- 内容 目からウロコ!?市民活動のいろは ~ 皆さんの“ミッションは何ですか” ~
- 講師 特定非営利活動法人 長野県 NPO センター 事務局長 山室秀俊さん
- 参加費 無料
- 主催 安曇野市
- 問い合わせ 安曇野市市民活動サポートセンター TEL&FAX 82-1922

### ● 安曇野環境フェア2016

- 日時 1日目 10月8日(土曜日) 9:30~16:00  
2日目 10月9日(日曜日) 9:00~16:00
- 場所 堀金総合体育館
- 参加費 無料
- 主催 安曇野市環境フェア2016実行委員会 共催 安曇野環境市民ネットワーク
- 問い合わせ 安曇野市環境課環境政策係 TEL 71-2492

### ● 第23回 ふるさとウォッチング in 安曇野

- 日時 10月10日(祝) 8:30受付(13:00終了予定)  
雨天の場合は一部コースを変更して実施
- 集合 常念ふれあい公園(穂高南小東)
- 定員 80名(申込先着順)
- 参加費 1名1000円(おむすび代、資料代、保険代等)
- 主催 NPO法人ふるさとづくり応援団 共催 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
- 申込み 9月20日~10月7日 公式サイトの申し込みフォーム、または事務局へFAX、郵送
- 事務局 NPO法人ふるさとづくり応援団  
〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2 (有)ライフポート安曇野内  
TEL 81-1325(平日9:00~17:00) FAX 81-1280  
URL <http://azumino-furusato.com>

### ● あづみの国際DAY

- 日時 10月16日(日) 10:00~16:00
- 場所 穂高会館
- 内容 安曇野で世界を体験する交流イベント
- 参加費 無料
- 主催 あづみの国際化ネットワーク(AIN)
- 問い合わせ 丸山 TEL 090-1869-9547

活動レポートやイベント情報をお寄せください。本誌やホームページで広く広報いたします。

また、取材をご希望の場合も下記市民活動サポートセンターまでご一報下さい、市民活動サポーターが伺います。

### 安曇野市市民活動サポートセンター

- 開館時間 午前9時~午後5時
- 休館日 毎週日曜日  
年末年始 12月29日~1月3日
- 住所 〒399-8303 安曇野市穂高 6658 番地
- 電話/FAX 0263-82-1922
- E-mail [azumino-sk@bz03.plala.or.jp](mailto:azumino-sk@bz03.plala.or.jp)
- URL <http://azumino-sk.net/>



# くるりん通信

9月号

No.009  
2016.9.16

〒399-8303 安曇野市穂高 6658 番地 市民活動サポートセンター 安曇野市役所市民生活部地域づくり課 発行

## 多くのまちづくり情報が届いています

市民活動サポートセンターは協働のまちづくりを進めるための様々な情報を提供しています。市民活動団体の皆様のお役に立つものを紹介します。

### 「地域・区」活性化の参考になります

区、自治会など地域コミュニティに関わる課題に関心のある方々にお勧めする情報誌です。

#### 一般財団法人 地域活性化センター発行 情報誌「地域づくり」(月刊誌)

本編と特集編の2誌構成です。その特長は下記の通りです。

- 全国各地の地域活性化に対する取り組みを広く紹介している。
- 「地域交通システム」「食の安全」「コンパクトシティー」など、地域活性化に資するテーマを決め、特集を組んでいる。因みに9月号は「農・林・水産業×福祉」です。
- 特集編は基調論文と各地の事例(12件程度)を掲載している。



#### 公益財団法人 あしたの日本を創る協会発行 情報誌「まちむら」(季刊誌)

自治会・町内会等の地域活動を活発にするために、全国の優れた活動事例の紹介や地域づくりの今日的な課題などを掲載しています。

- 「グラビア」、「ルポ」、「論文」の構成になっている。
- 自治会・町内会に的を絞っているので身近な課題の事例が多い。
- 「実践的」と銘打ったタイトルがあり、具体的な課題解決が報告されている。



### NPO 法人・市民活動団体の活動支援情報

NPO 法人や市民活動団体に対する講座の案内や補助金・助成金に関する応募要領などが届いています。



- 長野県県民文化部県民協働課から届く資料  
定期刊行物：NPO 通信  
講座チラシ：「NPO 法人設立講座」、「NPO 会計・税務個別指導塾」など
- 日本 NPO センターから届く資料  
「ソフトウェア寄贈いたします」などのチラシ

この他にも資金作りの参考になる情報(日本政策金融公庫、民間都市開発推進機構、クラウドファンディングの READ YFOR 等からの案内)があります。

# レポート

## ■ 新田育成会「お話の会」 大型紙人形劇「八面大王」公演

8/28 ■ 主催 「新田子ども会育成協議会」

小学校の夏休み最後の日に開かれた「お話の会」は、あづみ野風土舎による「八面大王」の公演でした。「八面大王」は穂高有明地区を舞台にした古くから伝わる民話ですが、知らない子どもたちがほとんどで、保護者の皆さんが作るお話の会恒例のおやつ、ポップコーンを美味しく食べながら、興味津々で鑑賞していました。

あづみ野風土舎が新田地区を訪れたのは2回目ですが、この日も40名を超える親子が公民館に集まり、人形の動きや、太鼓や効果音を駆使したステージに、驚いたり笑ったりしながらのひと時を過ごしました。

お話の会は、子どもが小さいうちから本やお話に親しむ習慣をつけて欲しいと、新田子ども育成協議会が年に一度開催しているもので、以前は豊科近代美術館多目的ホールで開かれていました。



会長の平井満さんは「主人公弥助の優しさやお母の包容力を、ぎすぎすした今の社会で育つ子どもたちだからこそ、深く感じ取ってくれたのではないのでしょうか。新鮮な感動の時間でした。」と話していました。

(磯野康子)

## ■ いいまちサロン3周年記念コンサート

8/30 ■ 主催 明科いいまちつくろうかい！！ 共催 明科公民館

当日は120名余りの市民らが会場を訪れ。会員手作りのお菓子とお茶に舌鼓を打ちながらコンサートを楽しみました。ゲストにソプラノ歌手柳澤章子さんと、ピアニスト福嶋るみさんを迎え、美しい歌声と演奏に耳を傾けながら、ゆったりとしたひと時を過ごしました。



サロンでは毎回手作りのおやつを提供することにしており、この日はいろいろや漬物が出されました。予想を超える参加者に準備する側はてんてこ舞いでした。

参加した小林いづぶさんは「明科が大好き。何も無いまちだけど、この町が、少しでも元気になってくれたらいい。小さな町おこしの活動は、この地域にはいっぱいあるんですよ。」と意欲を燃やしていました。

コンサートを主催した「明科いいまちつくろう会！！」の内川勝治会長は、区民の心が一つになって会が継続できたことをしみじみと語っていました。

サロン継続については「多くの参加者を望める企画を考えるのが一番大変」との感想で、「まちづくりには、地道な作業を伴う活動も必要不可欠。特に会員の皆さんの積極的な参加をお願いしたい。」と区民の側の意識改革を強く望んでいました。

(藤原綾子)

## ■ 堀金公民館ロビーミニコンサート おはなし会

9/3 ■ 主催 堀金公民館

堀金公民館のロビーミニコンサートとして読み聞かせボランティア「あめんぼの会」がおはなし会を開催しました。

前列には子どもたちがゴザに座り、後ろには大人が椅子に腰掛けて約50名の方が集いました。子どもも大人も会場が一つになって歌やお話、紙芝居をピアノの伴奏付きで楽しみました。ピアノの演奏が、ストーリーを際立たせ、より深く味わうことが出来ました。



プログラムは色々なジャンルのお話を新聞シアターや朗読、紙芝居などいくつかの表現方法で演じ、紙芝居の始まりと終わりには子どもが拍子木を叩くなど全員が参加する雰囲気があって面白く、楽しいおはなし会になりました。

あめんぼの会は女性6人で構成され、「世代を超えて、地域と共に」をモットーとして活動しています。

人との出会いを大切に、共に楽しい時間と空間を共有できる「支え合い」を目指して、地域の支援活動を続けると代表の山田百合さんは語っていました。

(今泉一)

## くるりん講座

第3回くるりん講座

### 取材の仕方、分かりやすい記事の書き方

8月28日(日曜日)安曇野市役所4階大会議室で、(株)市民タイムス編集局長の高橋輪太郎さんを講師として第3回くるりん講座が開催されました。

地区活動や、市民活動、個人事業に携わっている方など30名余りが参加し、「情報の取り方」のコツや、分かりやすい記事にする為の「見出し」の重要性などについての講義に耳を傾けました。

取材した内容を限られた紙面で記事に書く場合、まず一目で記事の内容が想像できる「見出し」を考える。内容は5W1Hの要点を決め、残りのスペースに補足する記事がどの位入るか算段する。見出し、内容の順で決めていく事が良い手順であるとのことでした。補足記事は、時には取材する人物の側面が伺えるような雑談をヒントに内容を膨らませる事も大切であるといった、経験から得た知恵を教えてくださいました。

講義の後半では実際の公民館報を取り上げ、写真のレイアウト、見出しなどの改善点を具体的に指摘し、参加者も納得していました。

長年新聞記者として活躍されて培ったノウハウを易しくお話頂き、今後の広報誌作成の参考になりました。

